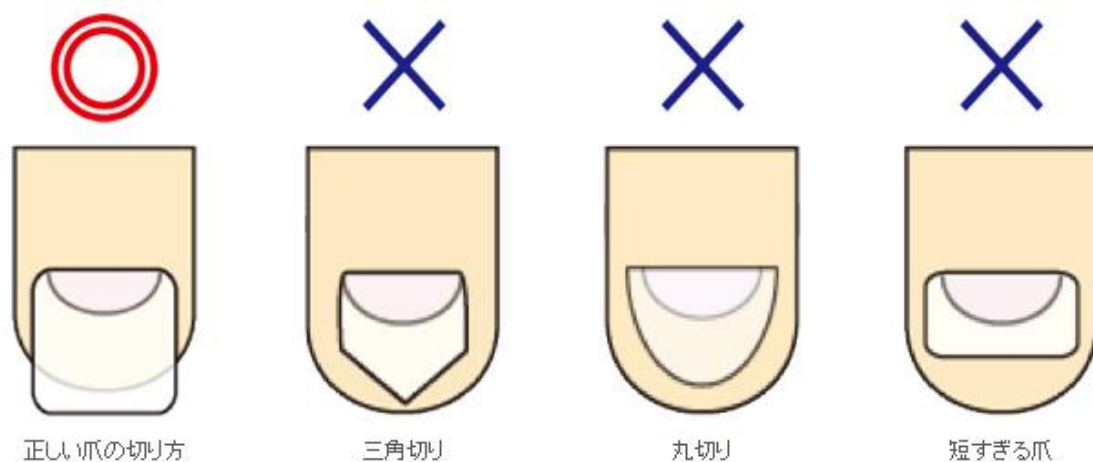


しもの診療所だより 11月号

今月は、巻き爪のお話です。伸びてきた爪の両脇の角が皮膚に深く食い込んだ状態で、正式名称は『陥入爪』といいます。原因は様々ですが深爪、窮屈な靴、遺伝、スポーツ、加齢や水虫（爪白癬）などがあげられます。特に深爪をすると爪周辺の皮膚が盛り上がり、爪の前に伸びようとする成長が妨げられて皮膚へと食い込んでいきます。深爪は、かなりの確率で巻き爪になるので爪を切るときは、深爪せず端を残して四角く切るようにしてください。自分で治療する場合は、テーピングや市販の巻き爪用クリップがありますが、化膿を繰り返し痛みや腫れがひどい場合は皮膚科への受診をお勧めします。



しもの診療所 院長 川井 祐輔